

指定管理評価表(地域総合センター南武庫之荘)

平成31年3月31日現在

施設概要	尼崎市立地域総合センター南武庫之荘(尼崎市南武庫之荘11丁目6番15号) 開館時間:平日9:00~21:00 第2・第4土9:00~17:00(祝日は休館) 施設設置目的:地域住民をはじめとする市民相互の交流の促進及び人権啓発意識の普及高揚を図り、もって市民福祉の向上に寄与するためのコミュニティの拠点となる施設として総合センターを設置する。 事業内容:(1)市民相互の交流の促進に関すること、(2)人権啓発に関すること、(3)地域住民の人権に関する相談及び自立支援に関すること等			
指定管理者の名称	特定非営利活動法人シンフォニー			
指定期間	平成27年4月1日~令和2年3月31日			
業務概要	(1)設置目的を達成するための事業の実施に関すること。(市民相互の交流の促進、人権啓発、地域住民の人権相談、自立支援等) (2)総合センターの利用の許可、その取り消しその他総合センターの利用に関すること。 (3)総合センターの利用に係る使用料の徴収、減免及び還付に関すること。 (4)総合センターの施設及び付属設備の維持管理に関すること等			
利用状況等	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	センター利用件数	3,255 件	3,299 件	3,746 件
	センター利用者数	31,281 人	31,300 人	36,774 人
	センター利用率	27.80 %	28.18 %	31.12 %
	事業開催回数	1,007 回	876 回	782 回
	事業参加人数	17,946 人	11,366 人	13,897 人
所管課・所管課長名	市民協働局ダイバーシティ推進課・後藤 真弓			
評価対象期間	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		B	共催の立場で、地域ボランティアグループと立ち上げた「子ども食堂(なかよし食堂)」は月2回の開催を継続しているなど、利用者の掘り起こしがされている。今後も引き続き、利用者の拡大を図っていただきたい。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		A	施設が老朽化しているなかで、適正な施設管理に努めている。また、すべてのトイレに無線の非常通報ボタンを設置し、利用者の安全安心に配慮している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	収支状況は良好である。また、施設内の様々な場所の照明をLED化し、電気料金の減少に向け積極的に取り組んでいる。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	経営状況は良好である。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		A	適切な文書管理や事務処理を行っている。センター運営委員会からの意見・要望をもとに内部評価を行っている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
・市民相互の交流の促進に関すること ・人権啓発意識の普及高揚を図る情報発信等の強化 ・各種教室・学習支援に関すること ・総合相談窓口の解説 ・地域のグループの立ち上げ・運営支援 ・地域防災訓練・避難訓練	利用者を含めたセンター運営委員会からの意見・要望を参考にして、ハード面では、施設の修繕を、利用者目線で積極的に行っていることが認められる。また、ソフト面においても、新しく「子ども将棋教室」を行うなど、利用者の声を反映した事業を行っていることは評価できる。今後は地域居住者の特徴を反映し語学講座を増やすなど教育事業を充実することが求められる。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	利用者を含めた「地域総合センター南武庫之荘運営委員会」を定期的の実施し、利用者からの意見・要望を基に内部評価に反映しようとしていることは評価できる。 今後も更に、「センター運営委員会」の意見等を参考に、地域課題を適切にとらえて、地元へ寄り添う事業展開を図れるよう、自己評価を続けながらより魅力的な事業展開や施設づくりの取組みを進めてもらいたい。

※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。

※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。

D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。